

第417号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



無財の七施



カット：本多紘子

秋空高く風そよぐ季節となりました。今年の夏は異常な猛暑が長く続き、九月の秋のお彼岸までうだるような暑い天気でした。皆様いかがお過ごしでしょうか。朝晩の涼しさに、ぐったりする疲労感が出て、「夏バテ」と共に「秋バテ」にも気をつけたいですね。

総務省は9月16日の「敬老の日」に、65歳以上の高齢者が前年より2万人多い3625万人、日本の総人口の29・3%で、過去最高となったと発表。高齢化率は世界の200カ国・地域で最高です。つまり世界一の長寿国とも言える素晴らしい国です。それなのに少子高齢化社会と言われ、若者の人口が減り、日本そのものの人口減少が起っています。若者たちにとつて、高齢者を支えていく負担が大きくなりすぎて、子育てに余裕が無く、未来に希望が持ちにくいからかな。

1947〜49年に生まれた「団塊の世代」は今年中に全員が75歳以上の後期高齢者となります。来以降、医療・介護サービスの提供が追いつかなくなると懸念されています。高齢者にも働ける間は長く働いて貰い、医療や介護の負担金を出して貰おうと、政府は人手不足が目立つ分野に短時間でも働くことを推奨しています。若者たちに魅力ある社会とするためにも、動ける高齢者は頑張ろうよ。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

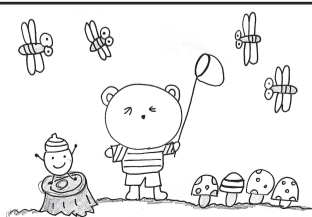
それにしても、人間はみんな幸せを目指して努力し、便利で着る物や食べるものや住むところに不自由のない社会を理想として頑張ってきました。しかし、そこに到達した先進国の人々は心から生きる幸せを感じているのだろうか。競争社会の先進国の金持ちたちが、きらびやかな着る物や贅沢な食べ物や豪華な住居を見せびらかすかのような振る舞いに、中流階級や下層階級の人々は羨ましがり、どんどん心が貧しくなっています。一つのリンゴを10人で分け合うのではなく、10人の人に見せびらかして食べるような社会は寂しい限りです。

愚僧も昨年11月3日に後期高齢者の仲間入りをし、妻の博子坊守(64歳)が昨年12月30日に膵臓癌で浄土に旅立ち、老いる淋しさと妻との別れの寂しさを味わいながら、人間として「生きる意味」と「死に行く意味」をあらためて考えています。フランスの有名な画家であるポール・ゴーギャンの大作に『我々はどこから来たのか、我々は何者か、我々はどこへ行くのか』とつけられた哲学的なタイトルに、愚僧は人類が持つ根源的な問いを感じました。私たちは人間の格好をして人間と呼ばれていますが、本当に人間なのだろうか。時には、自分の幸せや欲得で人を騙し傷つけるのは、畜生や鬼と変わらない。人と人との間を大切にし、支え合い生きる人間社会を取り戻そうよ。

国と国との紛争や、国内の政治紛争、また人間の文化生活が作り出した地球温暖化の影響などで、農産物のオレングジやカカオ豆・コーヒー豆・オリブオイル・小麦やトウモロコシなどの商品の国際価格が軒並み上がり、生活の出来ない人々が増えています。自分の欲得しか考えられない人は、人間の心をなくした我利我利者です。

仏教に『無財の七施』という教えがあります。お金や物が無くても人に施すことが出来るという尊い教えです。他人の良いところを見つれたり、微笑みの顔、暖かい言葉、我が身を惜しまず行動、優しい心、自分の立場を譲る、心の雨宿りの軒を持つという無財の七施、人間の未来に『無財の七施』こそが大切に感じます。合掌 (奥原 曇龍)

『微笑みと優しい言葉誰にでも 我が身惜しまず無財の七施』 どんりゅう



カット：府川 綾

ともしび説法

日時・十月 八日「火曜日」 午後一時半から四時まで。
十一月 三日「日曜日」 午後一時から四時頃まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

心光寺 倉敷 検索



お釈迦様ものがたり 96

大般涅槃經によれば、ガンジス川に面していたマガダ国のパータリ村から、いよいよワツジ国のコーデイ村に入られたお釈迦様は、比丘(僧)たちに説法をされました。

またナーディカのレンガ堂で、この土地で亡くなった多くの仏教信者たちの死後の運命について、侍者であるアーナンダの質問に対して、これに答えられています。お釈迦様の「法鏡」の教えとして有名です。

「法鏡」とは、仏法を正しく知るための鏡であって、この鏡に照らして見さえすれば、誰でも自分で死後の運命について知ることが出来るとせられています。法鏡とは証浄または不壊浄といわれるものと同じであって、それは仏・法・僧の三宝および聖域に対する絶対の帰依信仰のことです。

すなわち、①仏は最高の人格者、この上なき人天の導師であるとして、絶対に信じて疑わないこと。

②法は普遍妥当性のある真理であり、人々を理想に到達させる最上の教説である、と絶対に信じて疑わないこと。

③僧は正しく修行を積んだ尊敬されるべき聖弟子たちであり、民衆の信仰を指導する教団である、と絶対に信じて疑わないこと。

④このように三宝を正しく理解し、絶対にこれを尊信した上で、殺さず、盗まらず、嘘をつかず、姦淫せず、酒を飲まず、などの戒律を忠実に守り、これを絶対に犯さないこと。

右の四つが確実に得られたとき、始めて絶対確實の不壊の浄信が確立し、これを得れば第一段の聖者となる。彼の人は地獄などの悪趣に落ちることは絶対に無く、将来必ず理想のさとりに至り、死後の自己の運命を知ることが出来る。もしまだこの浄信を得てないならば、死後は地獄に落ちることもあり、さとりにへの約束が得られてないからです。この教えを「法鏡」と呼びます。合掌(奥原豊彦)



9月22日 秋のお彼岸会合同法要

ともしび法話

十月は、秋祭りの季節。皆様いかがお過ごしでしょうか。

お寺では、秋のお彼岸の行事も無事に終わり、11月3日(日)の秋の報恩講法要の準備に取りかかっています。お寺の大掃除は10月26日(土)です。皆様、気軽にお寺の行事に参加下さい。

心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

大型台風10号は8月27日に鹿児島県奄美地方に接近し、鹿児島・宮崎・大分・愛媛と鈍足で進み、長時間の降雨で各地に被害をもたらされました。被災地の皆様には、忠心よりお見舞い申し上げます。

倉敷市藤戸町 綱田 君子

11月3日(日)の秋の報恩講法要は宗祖親鸞聖人を偲びながら、生きる意味、死に行く意味を深く考えさせていただく行事です。ご先祖様を偲びつつ、お寺へ参ろう。

倉敷市藤戸天城 福原 浩子

「親鸞忌今年も参る心光寺
生かされ生きるデコボコ人生」

倉敷市中島 山田 孝治

菊の香のくらしに灯をともし 先祖を偲び今日を感謝 田辺多恵子

ともしび説法

日時・十月 八日「火曜日」 午後一時半から四時まで。

十一月 三日「日曜日」 午後一時から四時頃まで。

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて

電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派を問わず、はじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

十一月 三日(日)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。

秋の報恩講法要並びに永代経法要(儀式と仏教講演)

十二月 十日(火)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。

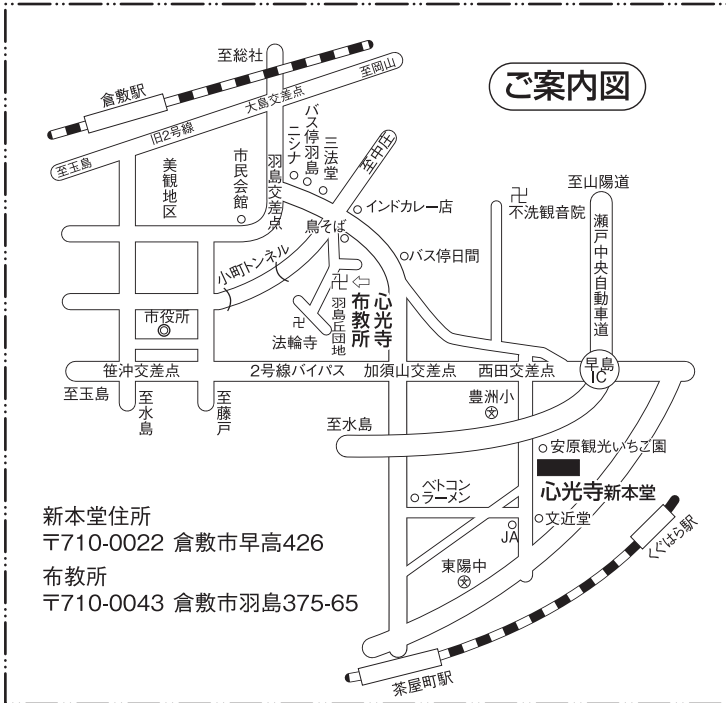
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方がいらして下さる方があれば嬉しく思います。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



うたの詩

天高くさわやかな秋が来たよ
やとと猛暑の夏も去り
松虫も鈴虫も恋の歌の大合唱
若者たちも祭りで恋をする
男も女も出会いをつくらうよ
人生はもととデコボコ道
曲がった道は曲がったまま歩む

カット:吉岡美枝



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

倉敷市 井垣様 坪井様 3千円
倉敷市 松下田善照様 矢羽田直夫様 5千円
倉敷市 岡本司様 菊川市 津田幸子様 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしょうにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「417号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。10月8日のともしび説法には茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦